情報処理技能検定試験 データベース

データベースから必要なデータを抽出・加工処理し、レポートを作成する技能を問う試験です。

❖検定試験のねらい

データベースソフトの利用を通じて、情報処理能力を身に付けることを目的として実施。

❖試験実施日(年4回)

❶7月第2日曜日　❷10月第2日曜日　❸12月第2日曜日　❹2月第4日曜日

●試験日は届出により前後10日間の移動が可能です。

❖試験会場

本協会指定会場

●申し込みのあった各大学、各学校および教室が試験会場校となります。
ただし、原則として受験者が10名以上であることを要します。

❖一般受験料(税込)

1級	2級	3級	4級
3,300円	2,800円	2,300円	1,800円

※本協会が認可した試験会場校では、特定受験料が適用されます。

❖試験基準

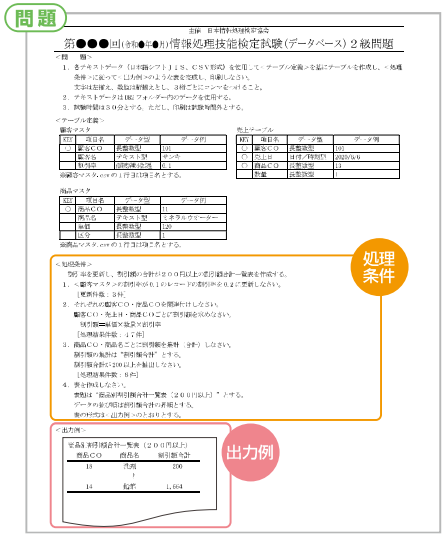
◎各級とも試験時間内に処理条件のとおり処理が完成したものを100点満点とし、減点基準により採点し、80点以上の答案を合格とする。

◎出題基準・試験時間は下記の表のとおりとする。

級	出題内容	試験時間
4　級	○ テキストデータの読み込み ○ テーブル定義(主キー・データ型の設定) ○ 複数テーブルの関連付け(内部結合) ○ レコードの抽出 ○ レコードの昇順・降順の並べ替え(ソート) ○ 表題・見出し等の入力 ○ 表示形式(コンマ・小数点・%・通貨・日付など) ○ 表のレイアウト ○ 罫線処理 ○ 印刷処理	20分
3　級	○ 4級基準を含む ○ 複数条件によるレコードの抽出 ○ 複数条件によるレコードの昇順・降順の並べ替え(ソート) ○ 計算式 ○ 関数処理(合計・平均・最大・最小・カウント) ○ グループ化(集計)での合計・平均・最大・最小・カウントの処理	30分
2　級	○ 3級基準を含む ○ 複数クエリの作成 ○ レコードの更新・追加・削除 ○ 項目名ごとのグループ化	30分
1　級	○ 2級基準を含む ○ 結合の種類(外部結合) ○ クロス集計 ○ NZ関数 ○ 重複・不一致レコードの処理 ○ クエリによるテーブルの作成 ○ その他応用	30分

☆問題に使用している会社、組織、製品、人物、キャラクター、データなどの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

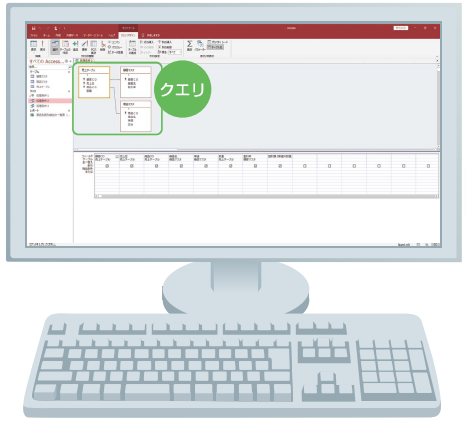
データベースソフトを使用し、処理条件に従ってレポートを作成します。



問題用紙

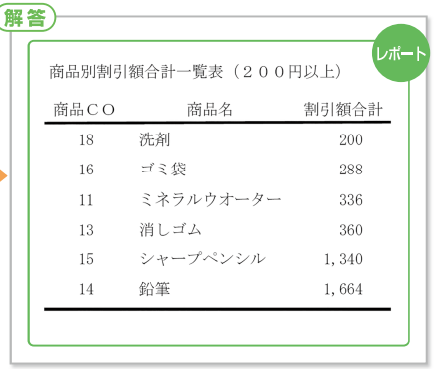
検定に使用するデータは本協会ホームページよりダウンロードしていただきます。

データをテーブルに読み込みます



処理条件に従ってクエリを作成します

印刷



レポートを作成します

用語説明

テーブルとは？

情報を蓄える場所を指します。

クエリとは？

条件に合わせて情報を抽出する機能を指します。
各テーブルから必要なデータの抽出やデータの加工処理(追加・削除・更新など)を行い作成します。

レポートとは？

さまざまな形で報告書を作成する機能を指します。